

Deep Freeze Cloud Software Updater サービス 設定書



DEEP FREEZE CLOUD

株式会社ネットワールド

ご注意

この資料の内容は 2026 年 10 月 2 日 現在の情報であり、今後変更になる可能性がありますのでご注意ください。当社にて動作確認をしておりますが、実際の設定、動作に関しては予め動作確認いただいたうえでご利用いただきますようお願い申し上げます。

本資料に記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商号、登録商標または商品名称です。

2026 年 10 月 2 日

目次

目次	2
1. Software Updater サービスのインストール	3
2. Software Updater サービスのログ	8
3. Cache サーバーのインストール	10
4. Software Updater サービスのアンインストール	14
5. Cache サーバーのアンインストール	14

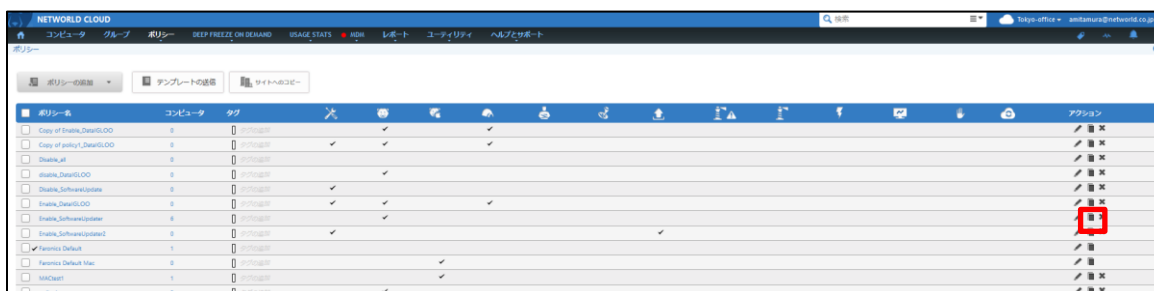
1. Software Updater サービスのインストール

Software Updater サービスを有効化するにはポリシーから設定します。本書は、Deep Freeze サービスがすでにインストールされていることを前提とした手順書となります。設定手順は、以下のとおりです。

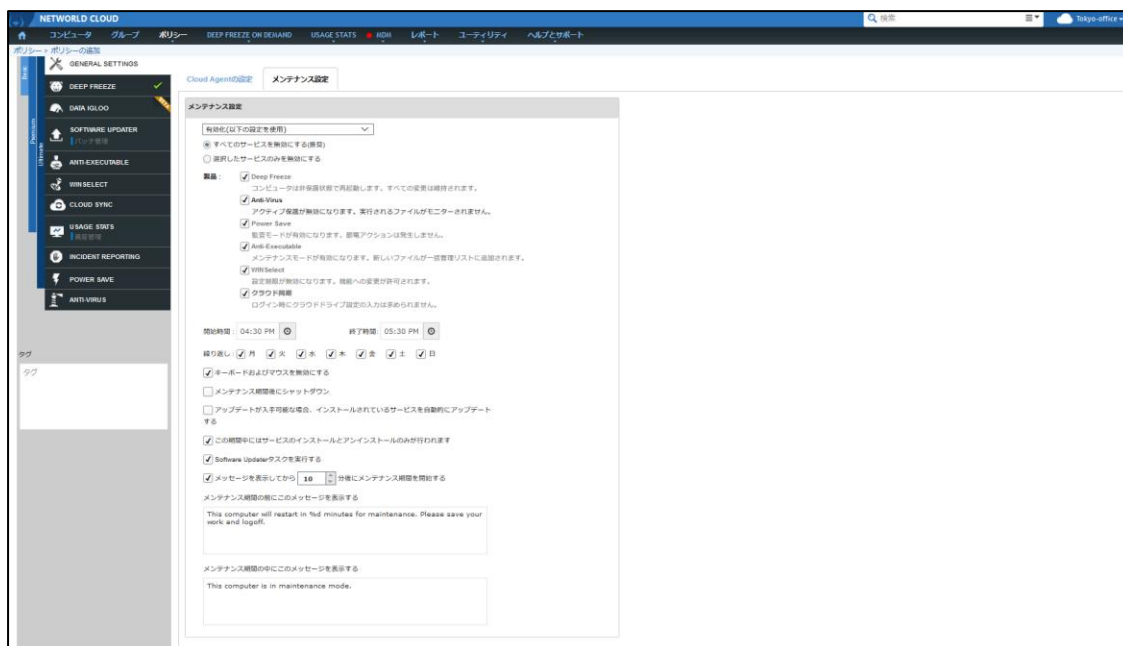
- 1) Deep Freeze Cloud コンソールへログインします。
- 2) [ポリシー] をクリックします。



- 3) Software Updater サービスをインストールするコンピューターが所属しているポリシーの右端にあるコピーをクリックします。



- 4) ポリシーのコピーが作成されます。[ポリシー名] を変更します。左メニューにある [GENERAL SETTINGS] から [メンテナンス設定] タブをクリックします。



以下の設定をします。

1. プルダウンメニューから [有効化(以下の設定を使用する)] を選択します。
2. [●すべてのサービスを無効にする(推奨)] を選択します。

※製品 の項目はデフォルト値のまま(すべての製品のチェックボックスが有効な状態)で結構です。

3. 開始時間、終了時間を設定します。また実行する曜日のチェックボックスを有効します。
4. 任意でチェックボックスを有効にしてください。

ただし、以下のチェックボックスは Software Updater を利用するうえで必要な設定となりますので必ず有効にしてください。

「■この期間中にはサービスのインストールとアンインストールのみが行われます」

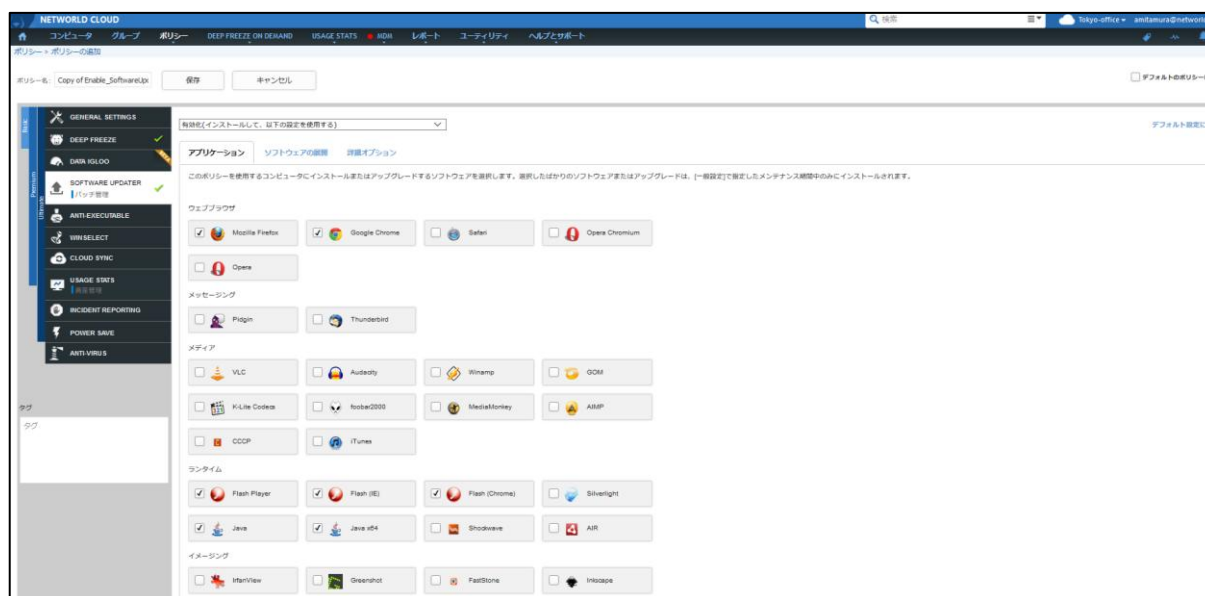
「■ Software Updater タスクを実行する」

5) 左メニューにある「SOFTWARE UPDATER」をクリックし、各タブにて設定します。

■ 「アプリケーション」 タブ

コンピューターにインストールまたはアップグレードするアプリケーションを選択します。

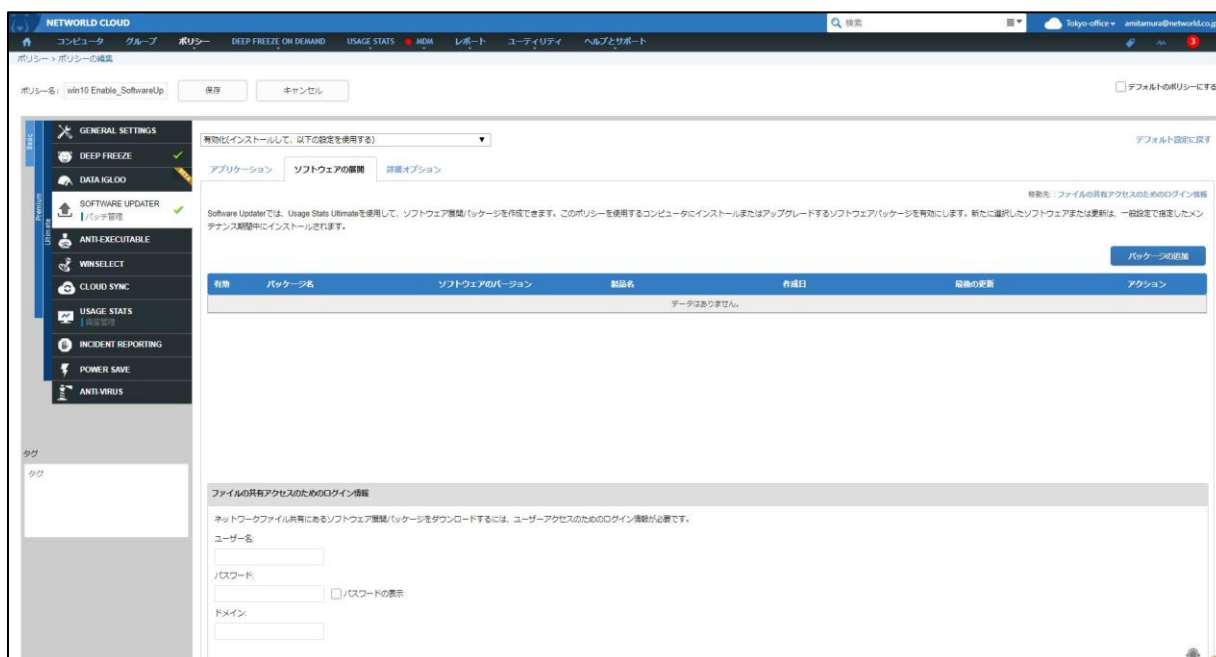
※ 選択したアプリケーションのインストールや更新は「メンテナンス設定」のスケジュールに準じて実行されます。



■ 「ソフトウェアの展開」 タブ

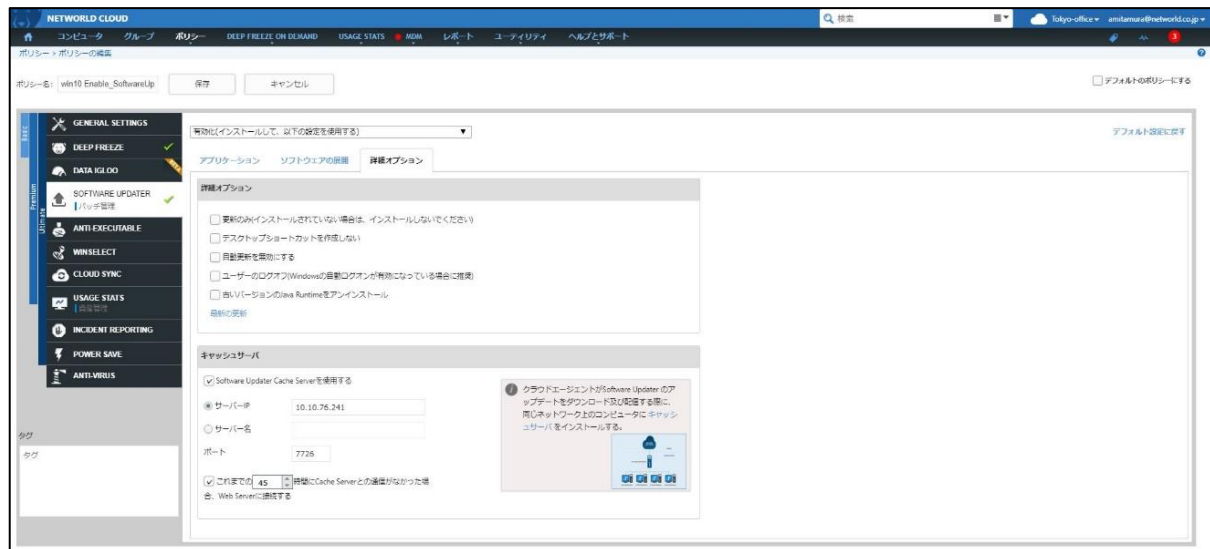
Usage Stats Ultimate を使用してソフトウェア展開パッケージの作成が可能です。

※ 別途 Ultimate ライセンスが必要となりますので、ご利用されたい場合は弊社の [担当窓口](#) へ別途ご相談ください。評価版にて動作確認いただいたうえでご購入いただくことをお勧め致します。



■ [詳細オプション] タブ

任意でオプションの設定や Cache サーバーを設定することが可能です。



詳細オプション：

- ・更新のみ（インストールされていない場合は、インストールしないでください）
※アプリケーションがインストールされていない環境の場合は有効にしないでください。
- ・デスクトップショートカットを作成しない
- ・自動更新を無効にする ※選択したプログラムの自動更新が無効にする
- ・ユーザーのログオフ（Windows の自動ログオンが有効になっている場合に推奨）
- ・古いバージョンの Java Runtime をアンインストール

キャッシュサーバ：

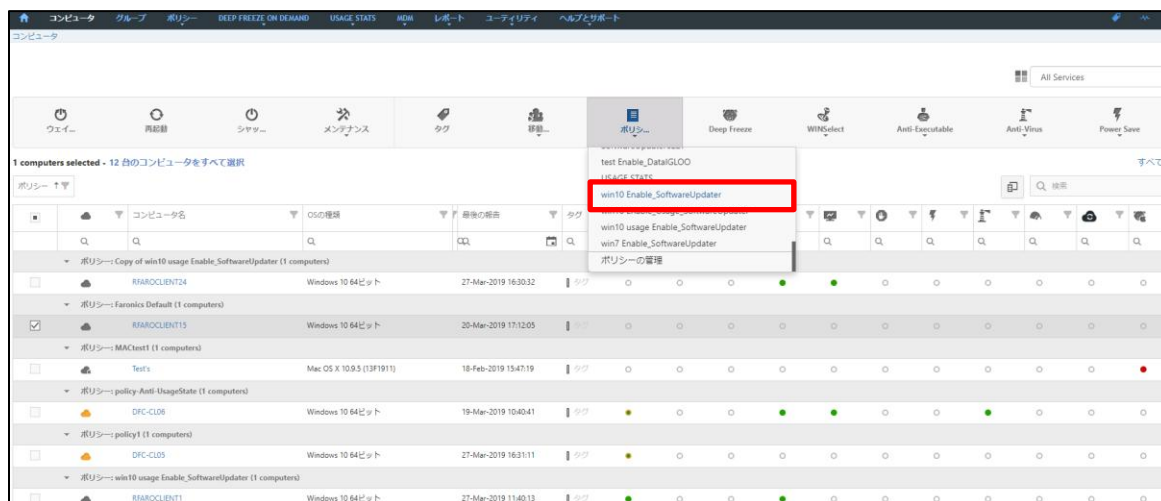
Cache サーバーを利用する場合は、[■ Software Updater Cache Server を使用する] のチェックボックスを有効にし、IP アドレスあるいはサーバー名（DNS 環境の場合）を設定します。

なお、Cache サーバーのインストール手順は本書「[3. Cache サーバーのインストール](#)」を参考ください。

[■ これまでの xx 時間に Cache Server との通信がなかった場合、Web Server に接続する] のチェックボックスは有効のままとしてください。

6) 設定したあと [保存] をクリックします。

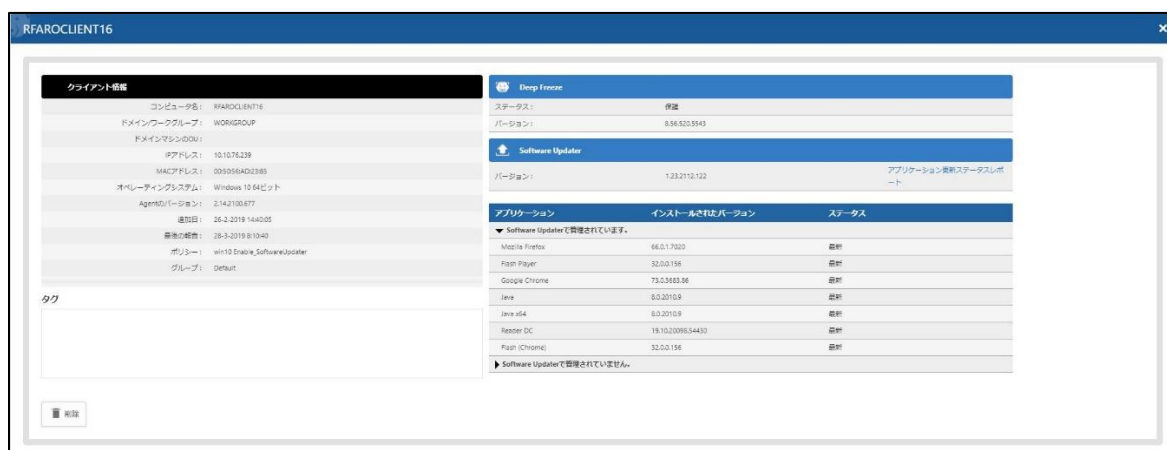
- 7) [コンピュータ] からサービスをインストールするコンピューターのチェックボックスを有効にし、[ポリシー] から先ほど作成したポリシーをクリックします。



- 8) [ポリシーの更新の環境設定] 画面が表示されるのでポリシーの更新するスケジュールを設定し、[OK] をクリックします。設定したタイミングでポリシーがコンピューターに適用されます。



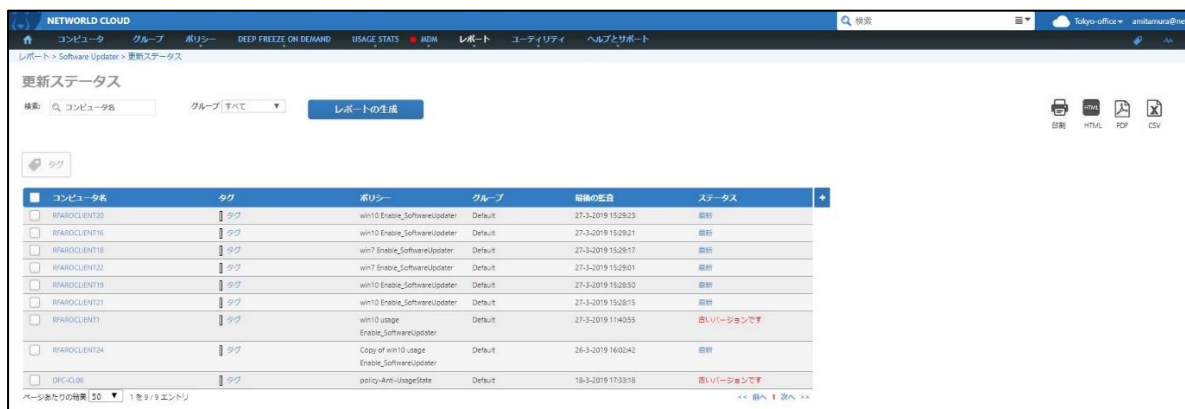
- 9) 手順 4) で設定した時間にメンテナンスが実行されて選択したアプリケーションがインストールあるいは更新（コンピューターにインストール済みである必要があります）されます。Software Updater サービスがインストールされたあと [コンピュータ] から該当のコンピューター名(青文字)をクリックすると以下の画面が表示され、バージョンやインストールされたアプリケーションを確認できます。



2. Software Updater サービスのログ

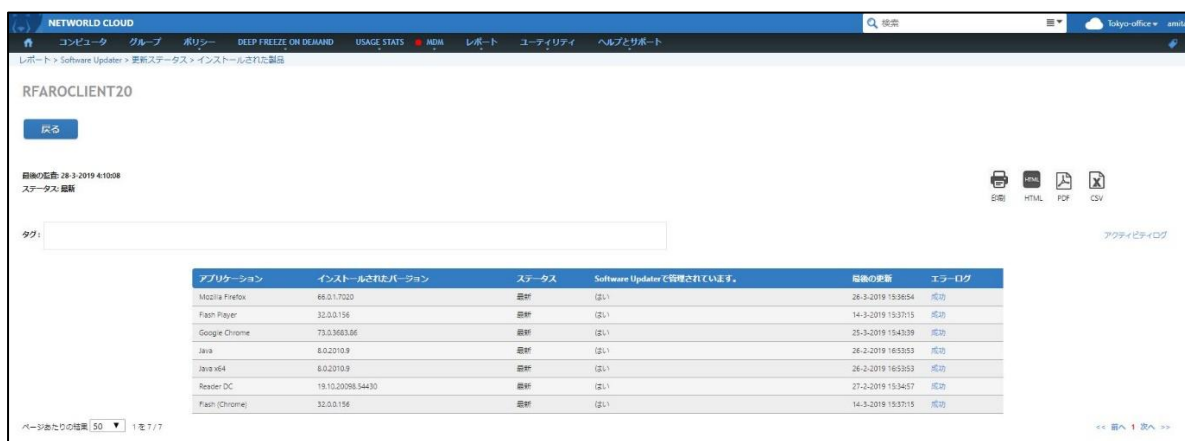
メンテナンスにてインストール、更新したアプリケーションの結果を確認することが可能です。

- 1) Deep Freeze Cloud コンソールへログインします。
- 2) [レポート] から [Software Updater] を選択し [更新ステータス] をクリックします。コンピュータのそれぞれのステータスについて確認できます。



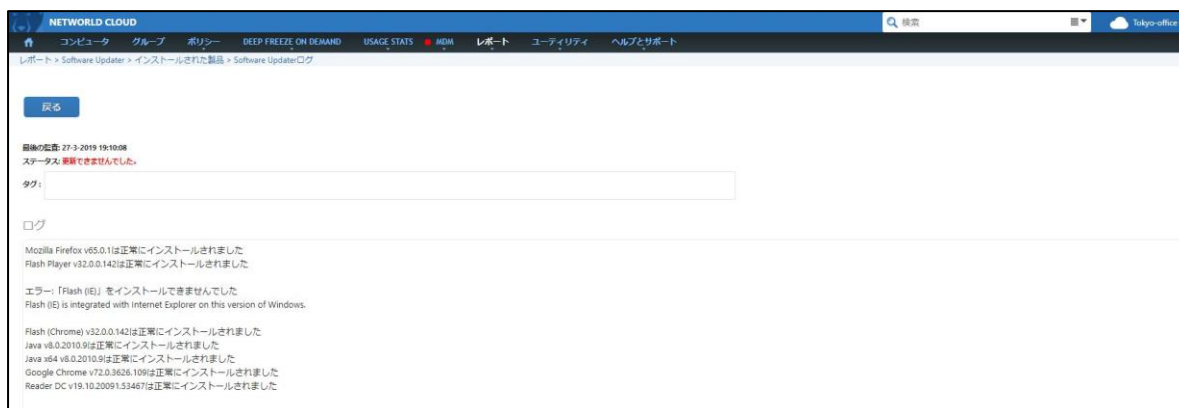
コンピュータ名	タグ	ポリシー	グループ	最後の更新	ステータス
RFAROCIENT20	タグ	win10_Enable_SoftwareUpdater	Default	27-3-2019 15:29:23	更新
RFAROCIENT16	タグ	win10_Enable_SoftwareUpdater	Default	27-3-2019 15:29:21	更新
RFAROCIENT18	タグ	win7_Enable_SoftwareUpdater	Default	27-3-2019 15:29:17	更新
RFAROCIENT22	タグ	win7_Enable_SoftwareUpdater	Default	27-3-2019 15:29:01	更新
RFAROCIENT19	タグ	win10_Enable_SoftwareUpdater	Default	27-3-2019 15:28:50	更新
RFAROCIENT21	タグ	win10_Enable_SoftwareUpdater	Default	27-3-2019 15:28:15	更新
RFAROCIENT1	タグ	win10_Usage_Enable_SoftwareUpdater	Default	27-3-2019 11:40:55	古いバージョンです
RFAROCIENT24	タグ	Copy of win10_Usage_Enable_SoftwareUpdater	Default	26-3-2019 16:00:42	更新
DFC-CL06	タグ	policy-Anti-UsageRate	Default	18-3-2019 17:33:18	古いバージョンです

- 3) [コンピュータ名] あるいは [ステータス] 項目をクリックするとインストールしたアプリケーションのバージョンなどが確認できます。



アプリケーション	インストールされたバージョン	ステータス	Software Updater で管理されています。	最後の更新	エラーログ
Mozilla Firefox	68.0.1.7020	更新	(はい)	28-3-2019 15:36:54	成功
Flash Player	32.0.0.156	更新	(はい)	14-3-2019 15:37:15	成功
Google Chrome	73.0.3683.66	更新	(はい)	25-3-2019 15:43:39	成功
Java	8.0.270.9	更新	(はい)	26-3-2019 16:53:53	成功
Java v64	8.0.270.9	更新	(はい)	26-3-2019 16:53:53	成功
Reader DC	19.10.20098.34430	更新	(はい)	27-3-2019 15:34:57	成功
Flash (Chrome)	32.0.0.156	更新	(はい)	14-3-2019 15:37:15	成功

- 4) 上記画面の「エラーログ」項目をクリックするとアプリケーションがインストールされた日時やタスクの結果について確認可能です。



※Windows 8、Windows 10 環境で [SOFTWARE UPDATER] [アプリケーション] タブで「Flash (IE)」を選択した場合、“エラー：「Flash (IE)」をインストールできませんでした” というエラーメッセージがメンテナンスのたびに表示されます。こちらは Windows 8、Windows 10 では「Flash (IE)」が OS 標準でインストールされており、アプリケーションの更新も Windows Update にて提供されているためとなります。そのため Windows 8、Windows 10 環境のポリシーでは「Flash (IE)」は選択しないようご注意ください。

3. Cache サーバーのインストール

同一サブネット上のコンピューターを Cache サーバーとして構成することができます。

※ Cache サーバー用にコンピューターを別途ご用意いただくか、Cloud リレーサーバーを Cache サーバーとして構成いただくことが可能です。

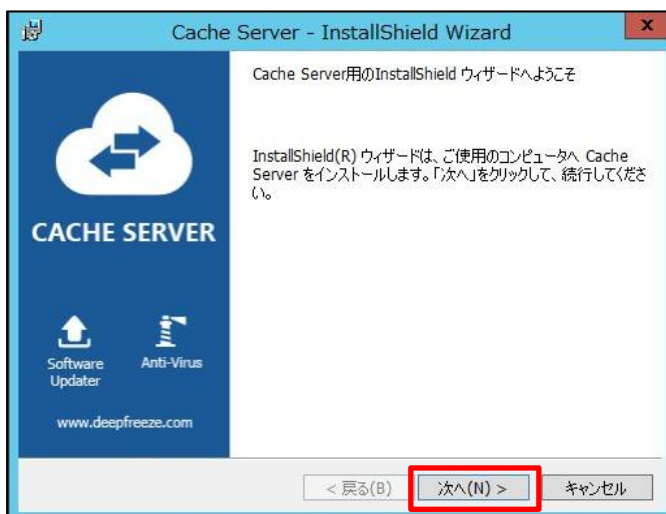
Cache サーバーはアプリケーションの更新ファイルや配布ファイルを一時的に保存し、コンピューターへの負荷を軽減することができます。なお Cache サーバーの要件は [FAQ:10269](#) に公開しておりますので構築する際にはあらかじめ要件をご確認ください。

Cache サーバーの設定手順は、以下のとおりです。

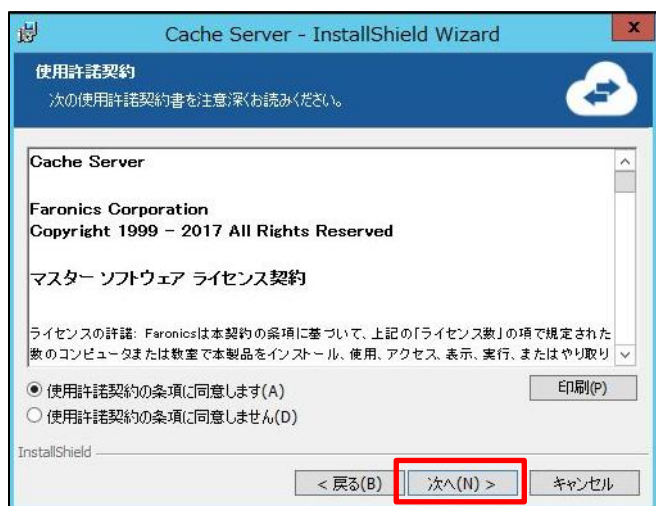
- 1) Deep Freeze Cloud コンソールへログインします。
- 2) [ユーティリティ] から Software Updater Cache Server の [ダウンロード] ボタンをクリックします。CacheServer.exe が表示されるので Cache サーバーとするコンピューターのローカルドライブに保存してください。



- 3) CacheServer.exe をコンピューターの管理者権限で実行し、「次へ」をクリックします



- 4) [●使用承諾契約書の条項に同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。



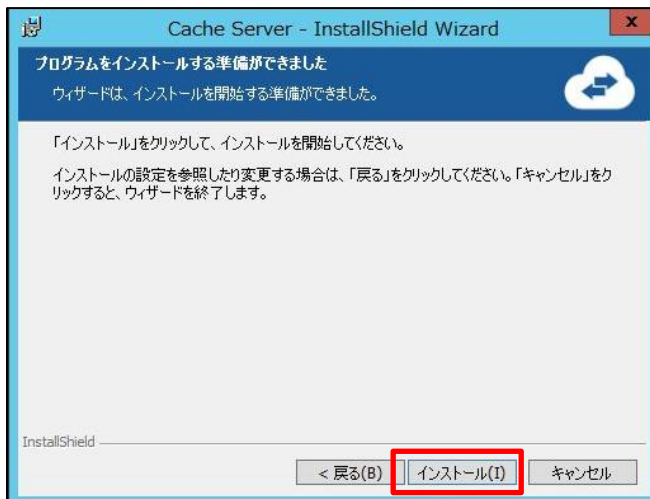
- 5) [■ Software Updater Cache Server] のチェックボックスを有効にし、[次へ] をクリックします。



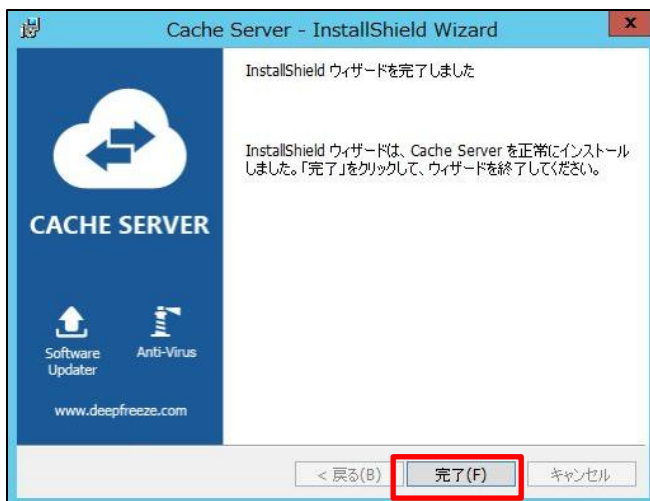
- 6) インストール先を変更する場合は変更し、[次へ] をクリックします。



- 7) [インストール] をクリックします。

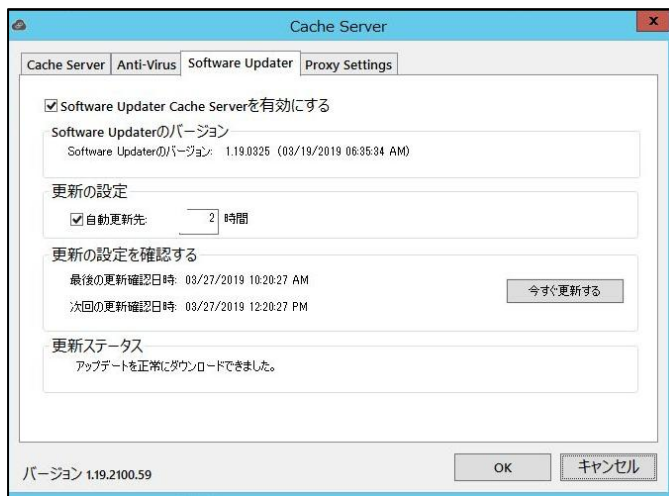


- 8) [完了] をクリックします。



※インストール後にコンピューターから OS 再起動を求められた場合は、再起動ください

- 9) システムトレイから Cache サーバー（雲マーク ☁ ）をダブルクリックします。[Software Updater] タブをクリックして [■ Software Updater Cache Server を有効にする] のチェックボックスが有効になっていることを確認し、画面を閉じてください。



4. Software Updater サービスのアンインストール

アンインストールの手順については弊社の TEC-World に関連 FAQ を公開しております。

10310：サービスおよび Cloud Agent のアンインストール手順について

<https://tec-world.networld.co.jp/faq/show/10310>

※ Software Updater サービスをアンインストールする際にメンテナンス設定は【無効化】してください。

添付されている資料「DFCloud サービス等のアンインストール.pdf」をダウンロードし、「1. サービスからのアンインストール」を参考に作業してください。

5. Cache サーバーのアンインストール

Cache サーバーのアンインストール手順は、以下の通りです。

- 1) Cache サーバーの【スタートボタン】をクリックし【管理ツール】から【サービス】をクリックします。【Faronics Cache Server】サービスを右クリックして【停止】します。
- 2) 【スタートボタン】をクリックし【コントロールパネル】から【プログラムと機能】をクリックします。【Cache Server】を右クリックし、【アンインストール】をクリックしてアンインストールします。

※アンインストール後にコンピューターから OS 再起動を求められた場合は、再起動ください

以上